

介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

| 科目名 | 認知症の理解Ⅱ | 合計時間数 | 22 |
|---------------------|---|---|----|
| 到達目標 (授業の目的・ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ・認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 | | |
| 教育に含むべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学的側面から見た認知症の理解 ・障害児者への支援の実際 | | |
| 科目の細目名 | 授業時間数 | 講義内容 | |
| 医学的側面からみた 認知症の理解 | 12 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症とは <ol style="list-style-type: none"> ①脳の機能と認知症 ②老化と能の変化 ③認知症とは何か ④認知症ともの忘れとの違い ⑤認知症に類似した状態 2. 認知症の診断 <ol style="list-style-type: none"> ①診断の過程 ②認知症に原因疾患の診断 ③認知症の重症度の評価 3. 認知症の原因疾患とその病態 <ol style="list-style-type: none"> ①アルツハイマー型認知症 ②血管性認知症 ③レビー小体型認知症 ④前頭側頭型認知症(ピック病など) ⑤クロイツフェルト・ヤコブ病 ⑥慢性硬膜下血腫 4. 認知症の治療と予防 <ol style="list-style-type: none"> ①認知症の治療 ②認知症の予防 | |

介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

| 科目名 | 認知症の理解Ⅱ | 合計時間数 | 22 |
|---|--|--|----|
| 到達目標 (授業の目的・ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> 代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 | | |
| 教育に含むべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> 医学的側面から見た認知症の理解 障害児者への支援の実際 | | |
| 科目の細目名 | 授業時間数 | 講義内容 | |
| 認知症の人や家族への支援の実際 | 10 | <ol style="list-style-type: none"> 初期の認知症への介護 <ol style="list-style-type: none"> ① 過ごす場の特徴 ② 初期に起こる変化 ③ 変化へのアプローチ ④ 介護職としてのかかわり・大切にしたいこと 中期の認知症への介護 <ol style="list-style-type: none"> ① 過ごす場の特徴 ② 中期に起こる変化 ③ 変化へのアプローチ ④ 介護職としてのかかわり・大切にしたいこと 後期の認知症への介護 <ol style="list-style-type: none"> ① 過ごす場の特徴 ② 後期に起こる変化 ③ 変化へのアプローチ ④ 介護職としてのかかわり・大切にしたいこと 認知症ケアにおけるチームアプローチ <ol style="list-style-type: none"> ① チームアプローチとは ② チームアプローチの実際 家族へのレスパイトケア <ol style="list-style-type: none"> ① レスパイトケアとは ② レスパイトの方法 ③ 休まない家族へのかかわり 家族へのエンパワメント <ol style="list-style-type: none"> ① 家族へのエンパワメントの基本 ② 家族の力の活かし方 | |
| 【使用テキスト】 中央法規出版「介護職員等 実務者研修テキスト 第4巻」 | | 【評価方法】 科目別小テストに対し、A=90点以上、B=80点以上C=70点以上、D=69点以下の4段階にて評価し、C以上を合格とする。 | |